2024 年 2 月 14 日（水）

「水曜サロン with 赤堀会長」第 5 期 第 8 回（通算 68 回）

「AI 時代の社会、人材、学び　ーアントレ教育の重要性ー」

１．内容

・世界の動き（テクノロジーの影響）

・これからの学び（学びの変化）

・効果的な失敗/一歩踏み出すということ（これからの学びのキーワード　失敗）

２．所感

本日は、３０分とは思えないほどの沢山の学びをいただきました。ほんの一部になりますが、ピックアップしてご紹介します。

世界の動きから。２０２４年から、アメリカの SAT（大学入試共通テストのようなもの）が、デジタル化を開始し、これまで３時間かかっていたものを２時間で実施できるようにするとのことで、それが学生に非常に評判が良いとのことです。私たちの知らないところで、新しいテクノロジーがどんどん生まれてきており、今の子供たちはその社会で生きていくことになる。先端テクノロジーと人間の共存は避けられない時代になっている。特に生成 AI の登場で、ホワイトカラーの仕事ほど影響を受ける可能性があるという。それは、教育者、専門家、クリエータもとのことです。

これからの社会では、情報処理能力に加えて情報編集力が必要になってくるが、それは、論理力、創造力、回復力、協働力であり、現在の偏差値、テストの結果という評価軸が変化してくるとのことです。その例として、アメリカで２０００年に開校したＨＩＧＨ　ＴＥＣＨ　ＨＩＧＨ高校を紹介いただきました。その学校では、一斉授業はほとんどなく、テストはなく、一年中行われているような文化祭（探求型学習）で評価を行うようです。選抜は抽選で、４２％の学生が就学補助を受けているにもかかわらず、９６％が進学し、大学の卒業率は全米平均に比べて高いとのことです。学びは、確実に変化していきそうです。

最後に、これからの学びのキーワードになるだろう失敗からの学びについて、アントレプレナーシップ教育についてお話をいただきました。アフリカの子どもたちの学力向上のために取られた失敗を経ての虫駆除の薬配布施策、２０２３年４月に徳島で２０年ぶりに高専が開校し、学びの軸の一つが起業家精神であること、陶芸クラスにおける総重量と質の評価実験でもっとも質が良い作品は総重量で評価したクラスから出た話など、わかりやすい事例を紹介いただきました。質疑の中では、学校の中は変数が少ないが、地域の企業との取り組みで変数を増やすことはできる、そのような取り組みは始まっているという話も。みんな起業しようよということではなく、失敗から学べる人を育てたい、指示待ちではない人を育てたい、消費者ではなく生産者になろう、それはテクノロジーを通じてチャンスが大きくなっているとお話しいただきました。　さて、最後に赤堀会長からどうしても聞きたかったということで、なぜ寿司職人の修行をしているのかとの質問がありました。高級職人の仕事は最後までＡＩにとって代わられないことを、自ら体験して説得力を持ちたいということでした。１回５

時間から長いときで 11 時間程度、仕入れから接客コミュニケーションなどやられてみて、変数が多く高級なコミュニケーションが必要な仕事は、AI にはまだできそうもないことを実感された様です。

AI に仕事を奪われる不安が先行しがちですが、教育により、テクノロジーと人間の良い共存の未来をイメージできました。小宮山さん、本日は、貴重なお話をいただきまして誠にありがとうございました。

以上